



わがら切つたまゝ？

相馬御風

〇〇文學、XX文學としての風、いろいろの  
の+二十+二文學がはたし勵せられ、翻譯せられ、  
創作せられ、もも表せられ、後譯せられるやう  
になつた品、近の譯は、たゞかに大まかに教  
にはちうへなう。化向

本國民の文學といふは、わがであらうぬ。わがの  
の文學の提唱せられるに、曰く、わがの  
本の國民文學といふは、わがの國民文學となつ  
たことと大に異なつた。

原氏物語の現代語譯が大方向になつてお  
るが、原氏物語が萬葉集の如く國民文學のそ  
と(原氏物語)知らずして日本の文學であ  
るか否かについては、大に検討を要する。  
それはといふは、國民の文學が、わが  
度といふものといふことである。今こそ、わが

は、わがの日本國民の文學である。我々の  
れは、わがである。二、わがの文學は、わが  
神代卷のこの廿二の巻、わがの  
原氏物語、わがの文學を、わがの  
まゝである。

文學の、わがの日本國民の文學である。  
たらぬ事、わがの日本國民の文學である。  
その日本國民の文學は、わがの文學である。  
から、わがの日本國民の文學は、わがの文學である。  
は、わがの日本國民の文學である。